

1日目6月19日(金)	2日目 6月20日(土)	3日目 6月21日(日)
	受付開始	
	8:50 <b>開会式</b> 9:00 <b>一般演題</b>  <b>口演発表</b>	8:50 <b>一般演題</b>  <b>学術ポスター発表</b> <b>会場討論</b> II
	10:10 <b>休憩</b> 10:20 <b>ワークショップ I</b> <b>「電子顕微鏡技術の臨床応用」</b> 1.「連続ブロック表面走査型電子顕微鏡(SBF-SEM)を用いた甲状腺乳頭癌核の三次元構築」 井上朋大 (山梨大学) 2.「病理診断に有用な免疫電顕の手法」 矢野信次 (大分大学) 3.「病態解明へのバイオイメーキング技術の応用」 石田欣二 (岩手医大)	9:50 <b>ワークショップ II</b> <b>「分子・細胞シームレス解析」</b> 1.「シームレスなハイブリット型SEM・2機種について」 金丸孝昭 (九州大学病院) 2.「TEMと蛍光顕微鏡とのクロストーク-現状と課題」 葦原雅道 (日本FEI)
	11:50 <b>休憩</b>	10:50 <b>休憩</b> 11:00 <b>特別講演 II</b> <b>「超解像顕微鏡と電子顕微鏡が拓くバイオイメーキングの新時代」</b>  岡田康志 理化学研究所・生命システムセンター・チームリーダー
11:50 各種会議予定 常務理事会	12:00 <b>社員総会</b> (評議員会)	12:00 <b>昼食</b>
13:20 <b>休憩</b> 13:30 各種委員会	13:00 <b>学術ポスター発表</b> <b>一分間スピーチ</b>  ポスター会場へ移動 (2F会議室)	12:30 <b>学会奨励賞受賞講演 (予定)</b>
14:00 各種委員会	14:00 <b>学術ポスター発表</b> <b>会場討論</b> I	13:00 <b>ワークショップ III</b> <b>「形態解析の温故知新」</b> 1.「遊離アミノ酸の免疫組織化学」 仙波禮治 (名古屋女子大学) 2.「ガスクラスターイオンビームと飛行時間型二次イオン質量分析を組み合わせた核内三次元構造解析」 正木紀隆 (浜松医科大学) 3.「設備・機器共同施設の支援体制について」 板倉広治 (名古屋大学)
14:30 各種委員会	14:50 <b>特別講演 I</b> <b>「超微形態観察が細胞世界の真理を暴く—ミトコンドリア、ペルオキシソーム、そして葉緑体の3分裂マシンの発見から」</b>  黒岩常祥 東京大学名誉教授 (日本学士院会員)	14:30 <b>閉会式(写真コンクール表彰)</b> <b>ミクロの写真展</b> 会場: 病院3階大ホールエントランス (12時~16時30分)
15:00 各種委員会	15:50 <b>休憩</b>	15:00 <b>市民公開講演</b> (受付14時から) 会場: 病院3階大ホール <b>「心不全の病態に潜む超微構造異常」</b>  大手信之 名古屋市立大学心臓・腎高血圧内科学教授
16:00 理事会	16:00 <b>学会賞受賞講演 (予定)</b>	16:00 <b>ミクロの写真展</b>  ~16:30
	17:00 <b>教育講演</b> <b>「生物試料の透明化: 古典から最新技術まで」</b>  八田稔久 金沢医科大学解剖学 I 教授	
	18:00 <b>休憩</b> 18:10 <b>学会賞授与式</b> ・会員報告 18:20 <b>記念撮影</b>	
	18:40 <b>懇親会・写真コンクール受賞者発表</b> (会場: サクラサイドテラス)	